

KARATSU SHINKIN BANK

Mini Disclosure

2016年 9月期



仮決算のご報告

唐津信用金庫は、昭和4年12月24日に創業して以来、
地域の皆様に支えられ、創業以来、永きにわたり地元の皆様のご信頼・ご負託に応えるべく、
「親しみ・信頼・確かな未来」という経営理念のもと、
協同組織の地域金融機関として「地域密着型金融」機能を発揮し、
ご当地の皆様とともに使命共同体としての役割の一旦を担わせて頂いてまいりました。
今後も努力を怠ることなく、1世紀の歴史が刻めるよう努めてまいる所存でございます。

ここに、唐津信用金庫をご理解いただき、ますますのご愛顧をいただけますよう
中間期のミニディスクロージャー誌を作成致しましたので
ご高覧賜りますれば幸いです。

今後とも、唐津信用金庫は
「信用金庫の特性発揮」「健全性の確保」
「経営体質の強化」「魅力ある職場作り」を
通して地域経済の発展に寄与するとともに、皆様のご信頼にお応えしてまいります。
更なる御支援、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

なお、ご案内のとおり信用金庫の基本法であります
「信用金庫法」には、中間決算の規定がありませんので、
本報告は全国信用金庫協会の指針に基づき、
法定決算に準じた決算手続きを行った計数のご報告であることを
ご了承くださいますようお願い申し上げます。



唐津信用金庫と地域社会

～親しみ・信頼・確かな未来～

○当金庫の地域経済活性化への取組みについて

当金庫は、唐津・東松浦地域を事業区域として、地元の中小企業者や住民が会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。

地元のお客様からお預かりした大切な資金(預金積金)は、地元で資金を必要とするお客様に融資を行って、事業や生活の繁栄のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地元の中小企業者や住民との強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めております。また、金融機能の提供にとどまらず、文化、環境、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。

預金積金に関する事項

(地域からの資金調達状況)

お客様からお預かりした大切な預金は、皆様から信頼をいただいている証であります。お客様の大切な財産の運用として「安全に、確実に、気軽に」ご利用いただけるように、また、目的や期間に応じてお選びいただけますよう各種預金を取り揃えております。

貸出以外の運用に関する事項

現在、我が国は景気の持ち直しが期待されていますが、まだ回復途上であり、日本銀行の長短金利操作付き量的・質的金融緩和と政策の影響から、低金利が続いております。そのような状況下で有価証券運用においては、公共債の運用に加え、リスク分散を図り投資信託等での運用も行い、安定的な配当金収入が得られるよう心掛けております。また預け金につきましても、信金中央金庫の定期預金を中心に運用等利回りの向上に努めております。今後とも安全で安定的な運用を基本として運用利回りの向上に努めてまいります。

預金積金残高… 79,648 百万円

余資運用残高… 41,266 百万円

※余資とは有価証券、預け金、金銭の信託等のことをいいます

預金積金・出資金 (会員数/8,503人 出資金残高237百万円)

◆ 今期決算に関する事項

経済格差が拡大傾向にあり、地方の景況は依然として厳しい状況にあります。このような環境に対応し、会員の皆様及びお客様のご負担に添えていくため、不良債権処理をすすめ、積極的な資産の健全化を図りました。その結果、今期の決算は以下のとおりとなりました。

業務純益	経常利益	当期純利益
94 百万円	63 百万円	63 百万円

今後も、積極的な引当により資産の健全性を維持しつつ、前向きな業務展開により安定的な収益確保を通して地域の皆様のための「金融サービス」のさらなる向上に努めてまいります。

体制について

常勤従業員数… 107名
店舗数……………9店舗
の体制で営業を行っております。
詳細については、6頁をご覧ください。

◆ 貸出金(運用)に関する事項(地域への資金供給の状況)

当金庫は、預金者に対する責任に応えるべく、出資者である会員の皆様へのご融資を基本として、地元中小企業の健全な発展と地域社会の繁栄に向けて、多数者利用の原則に基づく融資を心掛けております。

【貸出の運営方針】

- ① 地域に貢献する中小企業に対して積極的に支援します。
- ② 大口に偏重することなく、多数のお客様にご利用頂けるように徹底し、信用リスクを分散いたします。
- ③ 住宅資金や教育資金等の資金需要に対し、積極的に支援します。
- ④ 業種の片寄りを可能な限り是正し、バランスのとれた運用を行います。

◆ 取引先への支援等(地域との繋がり)

大きく変わりゆく経済環境の中、当唐津地区におきましても事業主の高齢化・旧市街地の空洞化・宿泊観光客の減少等の問題が顕在化してきております。このような状況のもと、当金庫は、お取引先事業者・企業様と日常的・継続的に接触を重ねる営業活動を通して、業績の低下や将来への不安などの様々な経営上の悩み等を率直にご相談いただける信頼関係の構築を目指しております。

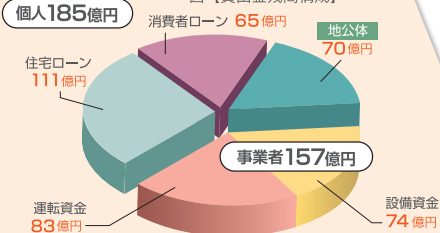
また、従来からのご融資の相談だけでなく、公的な企業再生支援機関であります「佐賀県中小企業再生支援協議会」様や税理士集団「TKC九州会」様などの外部専門家を活用した「再生支援活動」や「経営改善計画策定支援活動」も行っております。

更に、福岡・佐賀・長崎の九州北部の信用金庫が結集し、お取引先事業者・企業様を対象に開催する「ビジネスマッチング」活動を通して販路獲得等の支援も行っております。

当金庫は、このように、一歩踏み込んだお付き合いを通して、全力を挙げてお客様をサポートしてまいります。

ご融資・支援サービス

図【貸出金残高構成】



貸出金残高【414億円】 預金積金における貸出金の割合【51.98%】

なお、平成28年9月期における当金庫の貸出残高は図の構成となっております。また、地元中小企業の資金ニーズに迅速に応えるべく、多くの渉外担当者を配置し、きめ細かな融資推進ができる体制をとっております。

唐津信用金庫

お客様／会員

※各計数は平成28年9月末現在のものです

預貸金の推移

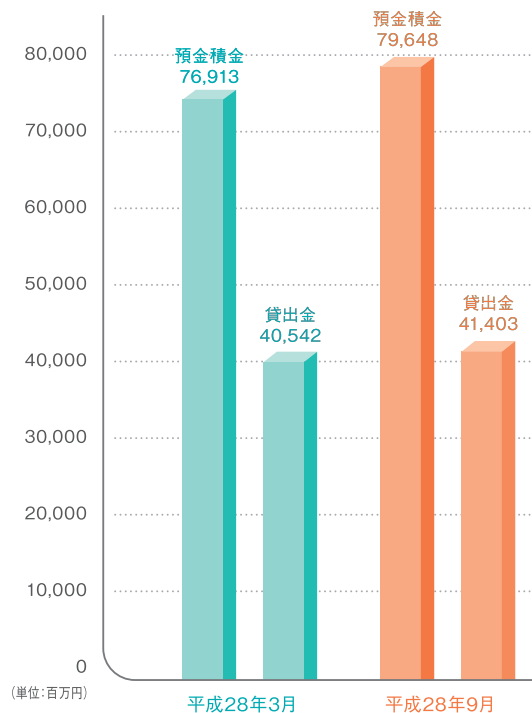
預金につきましては、残高ベースでは前期末比 2,735百万円増加し、平均残高でも1,360百万円の増加となっております。

一方、融資面におきましても地方における景況感は、依然厳しい状態が続いており、資金需要が低調に推移しておりますが積極的に取組んだ結果、前期末比861百万円増加し、平均残高でも1,733百万円増加いたしました。

その結果、預金に対する貸出金の割合を示す預貸率は、残高ベースで預金の増加もあり、前期末52.71%から0.73ポイント低下し51.98%となりました。

単位:百万円

	平成28年3月	平成28年9月
預 金 積 金	76,913	79,648
貸 出 金	40,542	41,403

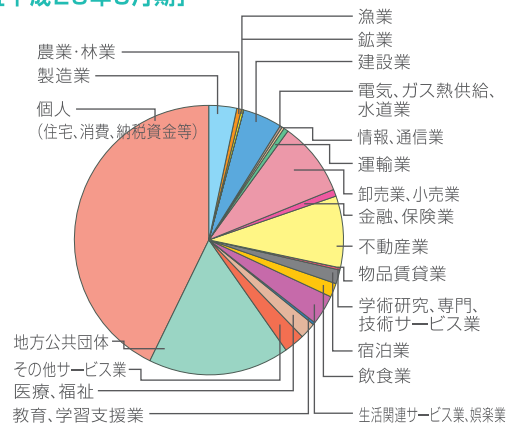


業種別貸出金の状況

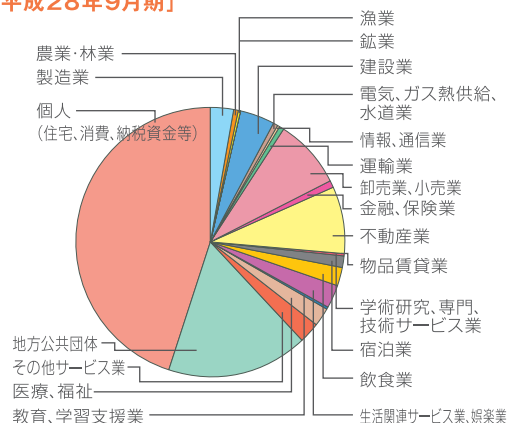
単位:百万円

業 種	平成28年3月期			平成28年9月期		
	貸出先数	貸出金残高	構成比	貸出先数	貸出金残高	構成比
製 造 業	66	1,368	3.3%	63	1,196	2.8%
農 業 ・ 林 業	16	245	0.6%	18	239	0.5%
漁 業	5	103	0.2%	5	103	0.2%
鉱業・採石業・砂利採取業	2	40	0.0%	2	38	0.0%
建 設 業	168	1,934	4.7%	167	1,698	4.1%
電気、ガス熱供給、水道業	3	30	0.0%	5	219	0.5%
情 報 、 通 信 業	4	127	0.3%	3	105	0.2%
運 輸 ・ 郵 便 業	20	274	0.6%	18	276	0.6%
卸 売 業 ・ 小 売 業	254	3,629	8.9%	243	3,463	8.3%
金 融 、 保 険 業	7	298	0.7%	8	329	0.7%
不 動 産 業	89	3,445	8.4%	85	3,313	8.0%
物 品 賃 貸 業	1	1	0.0%	1	1	0.0%
学術研究、専門、技術サービス業	15	184	0.4%	14	130	0.3%
宿 泊 業	20	623	1.5%	19	614	1.4%
飲 食 業	129	757	1.8%	126	810	1.9%
生活関連サービス業、娯楽業	67	1,402	3.4%	63	1,249	3.0%
教育、学習支援業	6	124	0.3%	5	117	0.2%
医 療 、 福 祉	30	777	1.9%	32	929	2.2%
そ の 他 サ ー ビ ス	80	978	2.4%	80	959	2.3%
小 計	982	16,348	40.3%	957	15,794	38.1%
地 方 公 共 団 体	2	6,870	16.9%	2	7,078	17.0%
個人(住宅、消費、納税資金等)	6,755	17,322	42.7%	6,834	18,530	44.7%
合 計	7,739	40,542	100.0%	7,793	41,403	100.0%

[平成28年3月期]



[平成28年9月期]



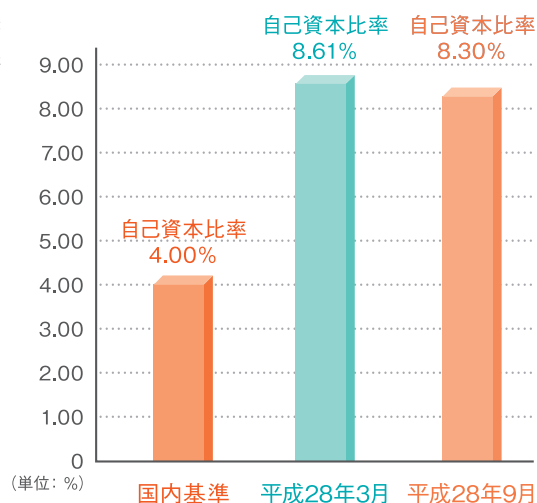
自己資本比率

自己資本比率は平成28年9月末日現在「8.30%」となっており、国内基準である「4.00%」を上回っております。

なお、9月期の仮決算は、9月末の残高を基準に時価補正を行うなど、決算手続きに準じて計算を行っておりますが、簡便な取扱となっており、法定決算手続きによるものではありませんので、税効果等により変動することがあります。あくまで9月末の目安として捉えておりますのでご了承願います。

	国内基準	平成28年3月	平成28年9月
自己資本比率	4.00%	8.61%	8.30%
自己資本額		2,429	2,480
コア資本に係る基礎項目		2,435	2,487
コア資本に係る調整項目		▲6	▲6
リスクアセット		28,213	29,883
総所要自己資本額 (リスクアセット×4%)		1,129	1,195

単位: %/百万円



損益の状況

平成28年度中間期の損益は、収益面においては競争の激化、利回りの低下等により貸出金の収益は減収となりましたが、好調なマーケット状況が続き、有価証券配当収益は増収となりました。一方、費用面においては、資産の健全化も進み、今期も信用コストの計上は少額に止まり、コスト削減等による費用の圧縮も進み、経常ベースで63百万円、最終利益でも63百万円の利益を計上いたしました。

	平成28年3月	平成28年9月
業務純益	128	94
経常利益	64	63
当期純利益	56	63

単位: 百万円

有価証券の状況

1 売買目的有価証券

単位: 百万円

	貸借対照表計上額	当会計年度の損益に含まれた評価差額
平成28年3月末	該当ございません	
平成28年9月末	該当ございません	

2 満期保有目的の債券で時価のあるもの

単位: 百万円

	平成28年3月末					平成28年9月末				
	貸借対照表計上額	時価	差額	うち益	うち損	貸借対照表計上額	時価	差額	うち益	うち損
国債	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
地方債	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
短期社債	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
社債	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	500	496	▲3	—	3	300	299	▲1	—	3
合計	500	496	▲3	0	3	300	299	▲1	—	3

注) 時価は、28年3月末日、28年9月末日の市場価格等に基づく価格です。

3 その他有価証券で時価のあるもの

単位: 百万円

	平成28年3月末					平成28年9月末				
	取得原価	貸借対照表計上額	差額	うち益	うち損	取得原価	貸借対照表計上額	差額	うち益	うち損
株式	205	232	27	39	12	204	231	26	37	10
国債	7,330	7,585	255	255	—	7,130	7,377	247	247	—
地方債	4,648	4,821	173	173	—	4,548	4,727	178	178	—
短期社債	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
社債	9,404	9,817	412	412	0	9,507	9,914	407	407	0
その他	1,851	1,899	48	83	34	3,035	2,887	148	38	186
合計	23,439	24,356	917	963	46	24,426	25,138	712	908	197

注) 時価は、28年3月末日、28年9月末日の市場価格等に基づく価格です。

不良債権の状況

1. 破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産、会社更生、民事再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権(以下、破産更生債権等という)です。

2. 危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。

3. 要管理債権

自己査定において要注意先に区分された債務者に対する債権のうち、3ヶ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権に該当するものをいいます。

4. 正常債権

債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、破産更生債権等、危険債権、要管理債権以外の債権をいいます。

[金融再生法上の管理債権の状況]

単位:百万円

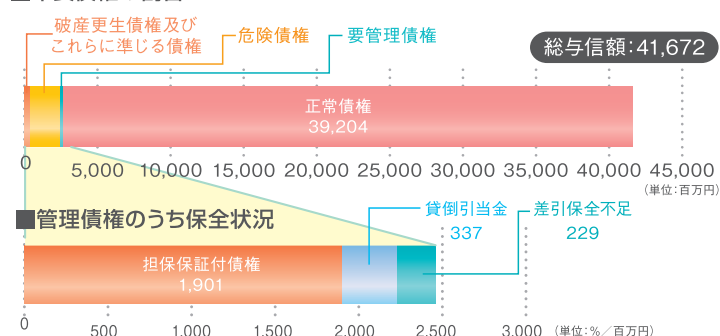
	平成28年3月末	平成28年9月末
合計管理債権額	2,613	2,467
うち破産更生債権及びこれらに準じる債権	277	293
うち危険債権	2,137	2,003
うち要管理債権	197	171
正常債権	38,187	39,204
合計額[総与信額]	40,800	41,672

[保全状況]

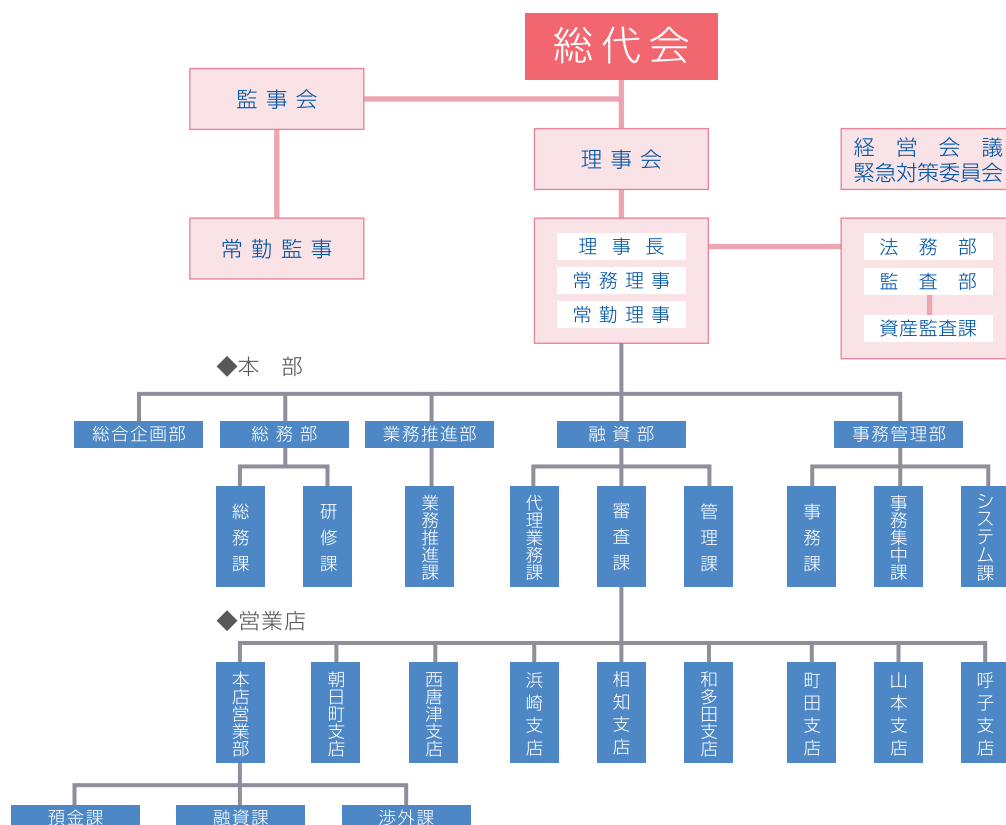
単位:百万円

	平成28年3月末	平成28年9月末
合計管理債権額	2,613	2,467
担保保証付与信額	2,070	1,901
貸倒引当金	315	337
差引保全不足額	228	229
保全率	91.3%	90.7%

■不良債権の割合



組織図



平成28年9月30日現在

唐津信用金庫の概要

創 立 昭和26年10月20日
(前身：昭和4年12月24日産業組合法により唐津町信用販売購買組合として発足)

本 店 佐賀県唐津市大名小路310番地の35

出 資 金 237,033,000円

出資会員数 8,503名

営業区域 佐賀県一円、福岡県糸島市

役 員

役 職 名	氏 名	任 期
理 事 長	松永一博	平30.6.総代会
常 務 理 事	中島幸利・落合正利	平30.6.総代会
常 勤 理 事	山本陽一郎	平30.6.総代会
非常勤理事	竹尾啓助・辻幸徳・小林哲・井上洋一郎	平30.6.総代会
常 勤 監 事	井上雅博	平29.6.総代会
非常勤監事	松本廣根(員外監事) 山下正美(員外監事)	平29.6.総代会

平成28年9月30日現在

常勤役職員数

区 分	平成26年3月末	平成27年3月末	平成27年9月末	平成28年3月末	平成28年9月末
常勤役員	5	5	5	5	5
職 員	103	100	102	103	102
合 計	108	105	107	108	107

唐津信用金庫が将来に向かって大切にすること

ここで生まれ育てて頂いた地域を大切にします

なによりもお客さまを大切にします

地域の歴史を作ってこられたお年寄りを大切にします

地域の発展を支える事業所の心を大切にします

未来に向かって大きく膨らむ若者の夢を大切にします

すばらしい地域の伝統と文化を大切にします

金庫の財産である職員とその家族を大切にします





ご利用
時間

平日/8:45~18:00の入出金

ゼロネットサービスとは、全国の信用金庫が提携して、北海道から沖縄まで全国各地に設置されている自動機(CD・ATM)の手数料が無料となるサービスです。全国どこでもお給料のお引出し、お買い物の代金の入出金が無料でご利用頂けます。ご出張やご旅行時のご入用、お子様の遠隔地で就学時の生活費のご利用等なお一層お得で便利になりました。

営業店ネットワーク



1 本店営業部

唐津市大名小路310-35
☎ 0955 (73) 3105

本部
☎ 0955 (73) 2105



2 朝日町支店

唐津市朝日町1095
☎ 0955 (72) 8271



3 西唐津支店

唐津市西唐津2丁目6223-23
☎ 0955 (72) 8341



4 浜崎支店

唐津市浜玉町浜崎1269
☎ 0955 (56) 6814



5 相知支店

唐津市相知町相知1948
☎ 0955 (62) 2555



6 和多田支店

唐津市和多田南先石8-2
☎ 0955 (74) 7101



7 町田支店

唐津市町田1丁目8-3
☎ 0955 (74) 4421



8 山本支店

唐津市山本1502-3
☎ 0955 (78) 1146



9 呼子支店

唐津市呼子町呼子3753-1
☎ 0955 (82) 5330

